

低温に対する農作物の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

令和2年5月18日11時29分、「低温に関する福島県気象情報 第1号(福島地方気象台)」が発表されました。

(見出し)

福島県では、中通りと浜通りを中心に、22日頃にかけて気温の低い状態が続き、最高気温が平年よりかなり低い見込みです。農作物や体調の管理などに注意してください。

(本文)

福島県では、気圧の谷やオホーツク海付近に中心を持つ高気圧の影響を受け、22日頃にかけて中通りと浜通りを中心に気温の低い状態が続き、最高気温が平年よりかなり低い見込みです。

農作物や体調の管理などに注意してください。

今後、発表する低温注意報や気象情報に留意してください。

「低温に関する福島県気象情報」は本号限りとします。

【水稲（移植栽培）】

- 1 田植えを行う場合は、低温と強風から苗を保護するため、移植後は水没させない程度の深水とします。
- 2 移植後田面が露出しているほ場では活着及び初期生育不良となりますので、常時湛水にするとともに、低温、強風時はやや深水として地温の低下を防ぎます。
- 3 活着後は浅水管理（水深3cm程度）を徹底し、分けつの発生及び初期生育の確保に努めてください。

【野菜】

1 露地栽培

- (1) 無理な早まき・植え付けはせず、天候の回復を待って行います。既に植え付けした場合は、べたがけ等の被覆資材等により保温に努めます。
- (2) 夏秋キュウリやインゲンなどは現在定植期であり、低温時の無理な定植はその後の活着や初期生育を悪くします。定植は気温や地温が確保されてから行いましょう。

2 トンネル栽培

- (1) ビニール等と不織布等の保温資材を併用し、早めに被覆し保温に努めます。
- (2) ナスやピーマン等のトンネル栽培では、生育の遅れや低温が続くようであれば被覆を延長します。

3 ハウス栽培（雨よけ栽培を含む）

夕方は早めにハウスを密閉するなどして保温に努めます。日中晴れるとハウス内の温度が急激に上昇するので、換気に注意します。また、土壌が乾燥していて灌水が必要な場合は、日中の温度が高い時間に行います。

4 病虫害防除

低温・過湿で、低温性病害が発生しやすくなるので注意しましょう。

【果 樹】

主要果樹では、5～6月は新梢や果実の初期生育を確保する上で大変重要な時期となるので、着果管理や肥培管理を適切に実施してください。樹勢の低下が認められる樹は早急に予備摘果を実施し、樹勢に応じた着果量として樹勢の回復を図りましょう。

また、天候がぐずつくと考えられるので、病虫害防除を徹底してください。

1 着果管理

(1) モモ

摘らい・摘花を実施しなかった場合や摘らい程度が弱かった場合は早急に予備摘果を実施しましょう。また、仕上げ摘果は、果実肥大に差がつく満開後40日頃から実施し、新梢の生育に応じて着果数を加減します。なお、樹勢が弱い樹は着果量も少なめとします。

本年は、果実に花カス（ガク片等の残り）の付着が目立っており、灰色カビ病などの病害発生につながりやすいので、摘果で丁寧に取り除きましょう。

(2) ナシ

予備摘果は満開後30日以内に完了しましょう。本年は、果実の生育や実止まりにバラツキが認められるため、果実の形質を良く確認しながら作業を進め、着果数を確保しましょう。

(3) リンゴ

実止まりが確認できしだい予備摘果を開始し、満開後30日以内に完了しましょう。結実良好な園では、予備摘果で長果枝や葉の少ない果そう及び肥大の悪い果そうの果実はすべて摘果し、着果負荷の軽減を図りましょう。また、えき芽果の着生が多い樹では、早めに摘果を行いましょ。

(4) オウトウ

実止まりが明らかになってきたので、早急に摘果を実施し、適正着果としましょう。本年は、果実に花カス（花弁やガク片等の残り）の付着が目立っており、灰色カビ病などの病害発生につながりやすいので、摘果で丁寧に取り除きましょう。また、雨よけ被覆、着色管理などの管理作業は計画的に実施しましょう。

2 病虫害防除

ぐずついた天候が続くと病害の発生が懸念されるので、病虫害防除を徹底してください。特に、モモせん孔細菌病、なし黒星病の発生には十分注意してください。

(1) モモせん孔細菌病

枝病斑、葉における発病部位、枯れ枝は伝染源となるため、見つけしだいせん除し適切に処分するとともに、今後の防除を徹底しましょう。

(2) なし黒星病

果叢基部病斑、罹病葉および罹病果は見つけしだい摘除し、適切に処分するとともに、今後の防除を徹底しましょう。

【花き】

1 露地栽培

露地ギクでは、低温や曇雨天などの不順天候により、花芽の発達が抑制されると栄養生長に逆戻りし、柳芽が発生しやすくなります。過剰施肥は柳芽発生を助長するので注意しましょう。

また、リンドウでは、芽整理を徹底して軟弱徒長の防止に努めましょう。

2 施設栽培

トルコギキョウなどの施設栽培では、日中晴れると施設内温度が急激に上昇するので、早めの換気管理を心がけてください。また定植直後の遮光被覆は、過度の遮光とならないように注意してください。

3 病虫害防除

キクの白さび病は、15～23℃が発病適温です。また曇雨天や低温は発病を助長するため、病葉は発見したら取り除き、日当たりと風通しの確保に努めましょう。

また、トルコギキョウでは、曇雨天後の強い日差しによる葉焼けや蒸れにより灰色かび病の発生が懸念されます。速やかな薬剤散布と下枝整理などの耕種的防除を行なってください。

【飼料作物】

1 牧草

牧草の1番草は、平地で収穫時期、山間部ではこれから収穫時期を迎えます。まだ、収穫を行っていない草地は、生育状況を確認した上で、梅雨入り前（例年6月10日頃）までに適期収穫を行いましょ。

1番草収穫後は、適切な肥培管理を実施し、2番草以降の順調な生育を促してください。

2 飼料用トウモロコシ

飼料用トウモロコシは、梅雨入り前に初期生育を確保するため、播種時期を遅らせることなく、適期播種を行いましょ。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ

以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>